

令和7年度 産業医科大学 医学部 医学科 「ディプロマ・ポリシー到達度自己評価アンケート」 (1年次生～6年次生対象)

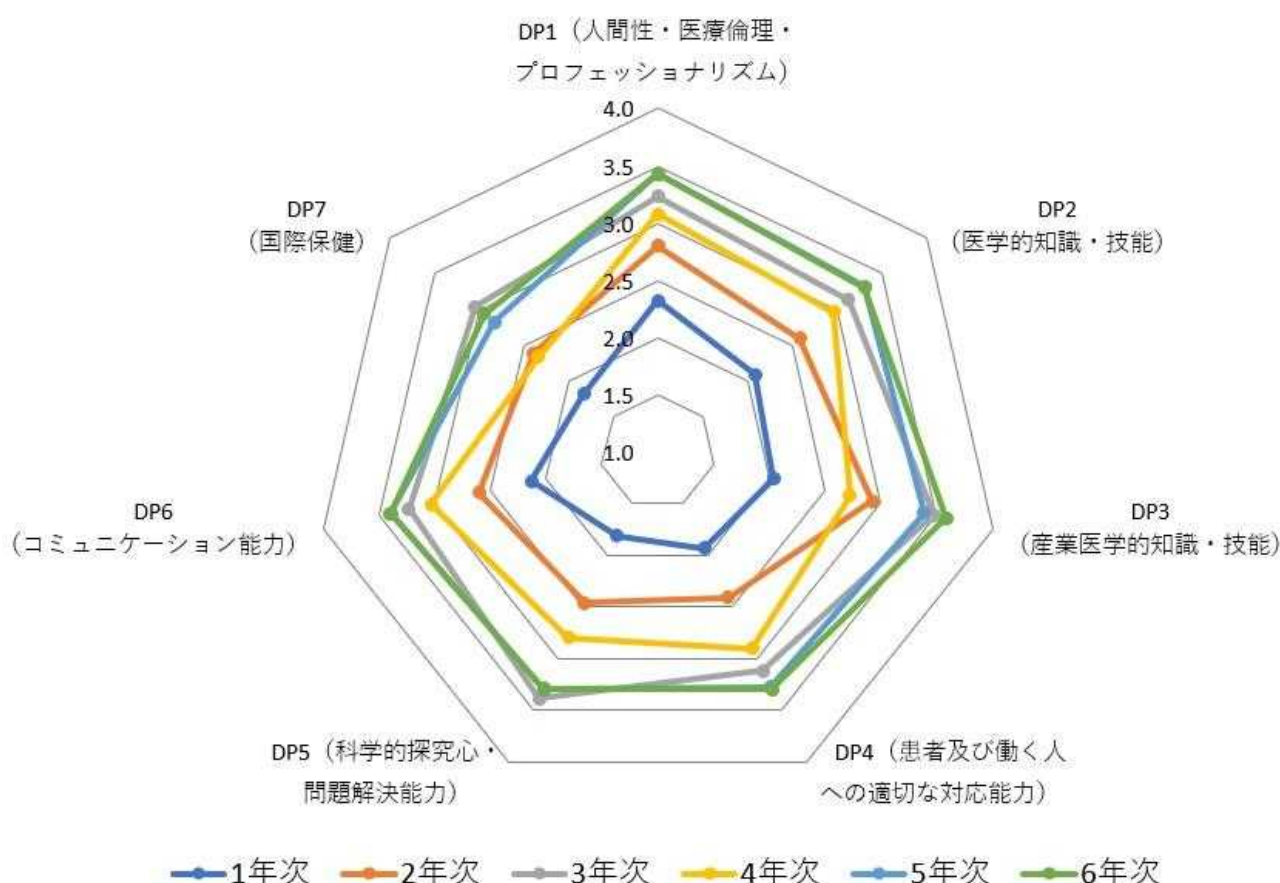
<回答方法>

本学医学部で掲げるディプロマ・ポリシーの各コンピテンシーについて、レベルC（2年次生修了時）、レベルB（臨床実習開始時）、レベルA（卒業時）、レベルS（Advanced：一部のみ）のマイルストーンを設定し、現時点で自身がどのレベルに到達できているかについて、各コンピテンシーのマイルストーンに基づき、2件法～5件法で回答を求めた。

<回答者数/対象者数>

1年次生：107/107名、2年次生：110/110名、3年次生：101/101名
4年次生：110/110名、5年次生：104/104名、6年次生：105/105名

<ディプロマ・ポリシー到達度の平均値（レーダーチャート）>



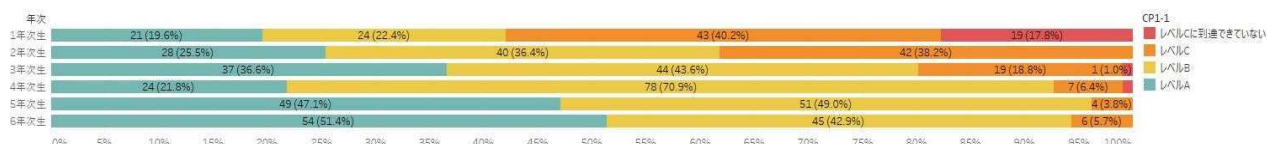
(※) 各ディプロマ・ポリシーの得点は、当該ディプロマ・ポリシーを構成する各コンピテンシーの到達度を「最低レベル未達=1、レベルC=2、レベルB=3、レベルA=4、レベルS=5」に換算した上で、その平均値として算出した。

ディプロマ・ポリシーⅠ. 人間性・医療倫理・プロフェッショナリズム

医師としてふさわしい豊かな人間性を身につけるとともに、その職責を自覚し、倫理観・使命感・責任感を持って、社会に貢献することができる。

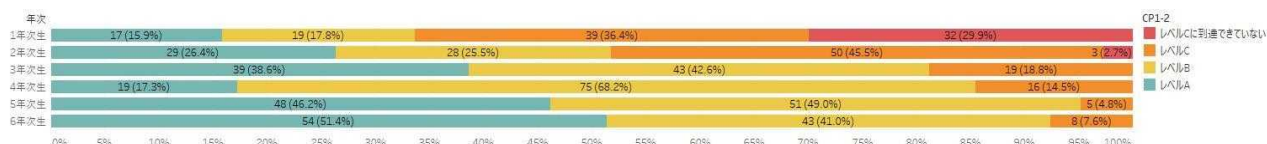
コンピテンシーⅠ-1

医師として倫理的問題を理解し、倫理的原則に基づいて行動できる。



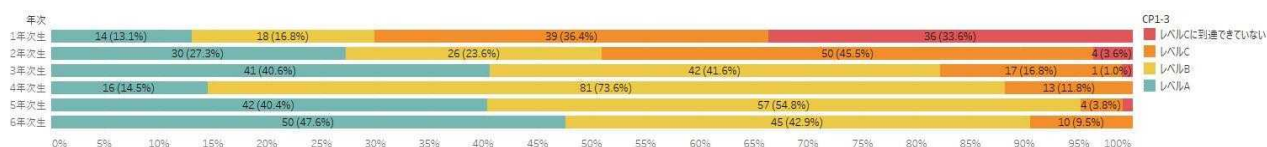
コンピテンシーⅠ-2

医師として法的責任、規則を遵守できる。



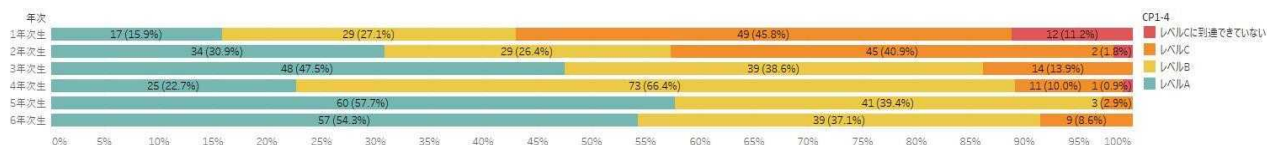
コンピテンシーⅠ-3

患者、社会、医療者に対して説明責任を果たすことができる。



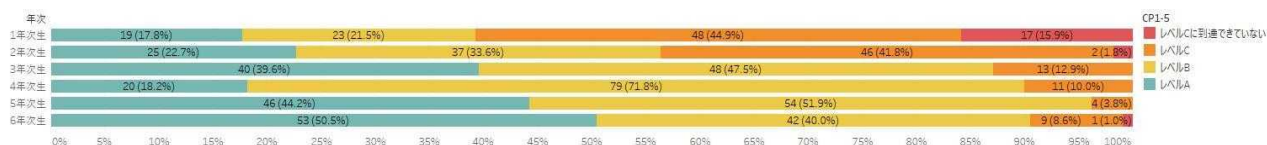
コンピテンシーⅠ-4

医師としての自尊心と生涯にわたり自己研鑽に努める姿勢を持ち続けることができる。



コンピテンシーⅠ-5

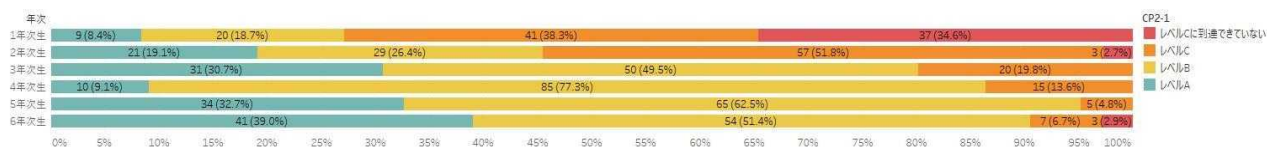
常に自己を評価・管理し、自分の知識、技能、行動に責任を持つことができる。



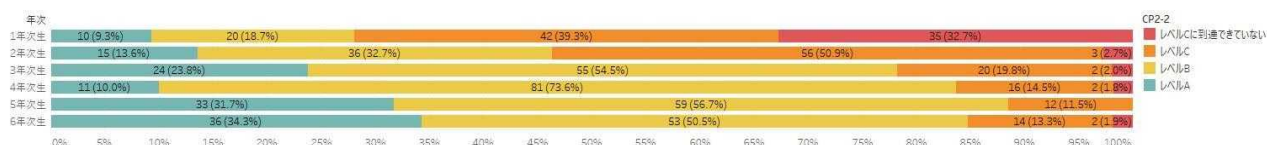
ディプロマ・ポリシーⅡ. 医学的知識・技能

医師としての業務を行うために必要な基礎医学・社会医学・臨床医学に関する基本的知識と技能を修得し、疾病の予防、診断と治療、研究に活用することができる。

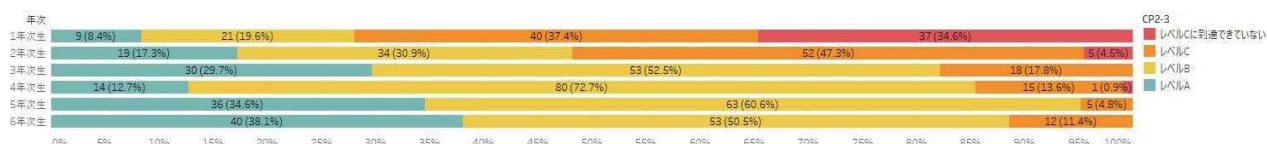
コンピテンシーⅡ-1 正常構造と機能



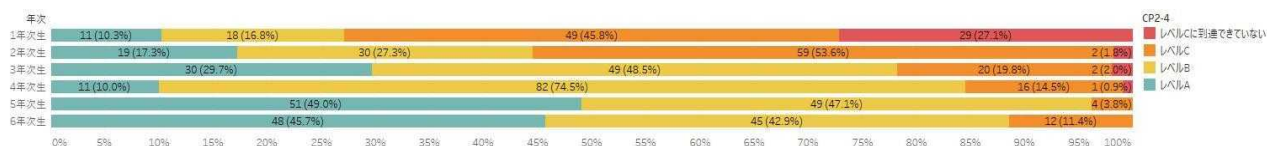
コンピテンシーⅡ-2 遺伝、発生



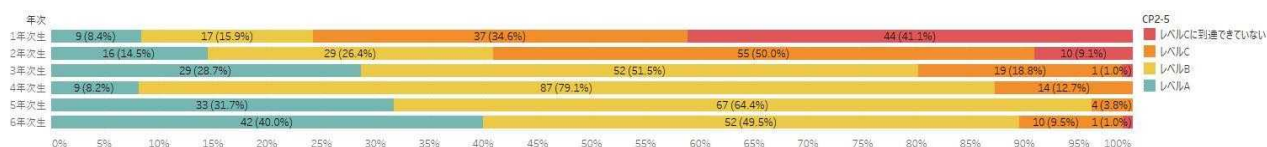
コンピテンシーⅡ-3 発達、成長、加齢、死



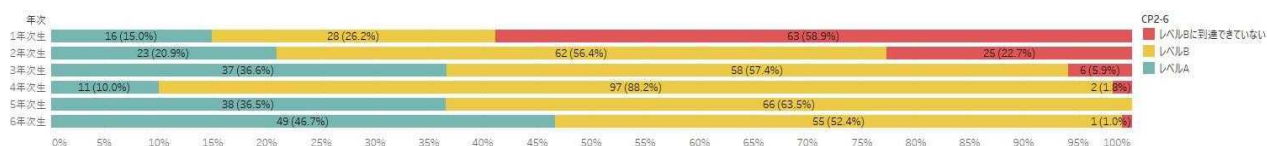
コンピテンシーⅡ-4 心理、行動



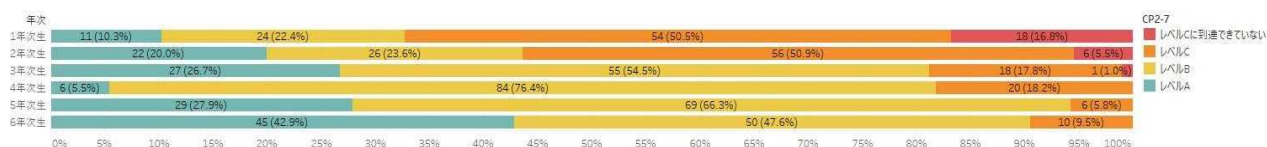
コンピテンシーⅡ-5 病因、構造と機能の異常



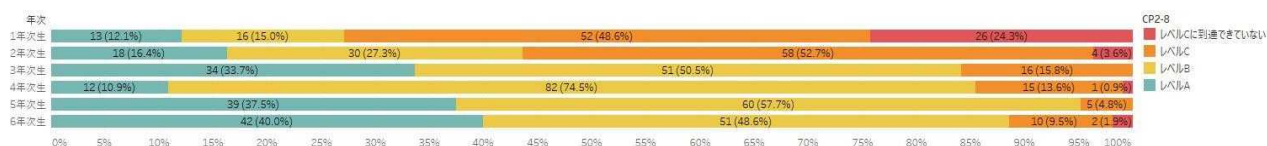
コンピテンシーⅡ-6 診断、治療



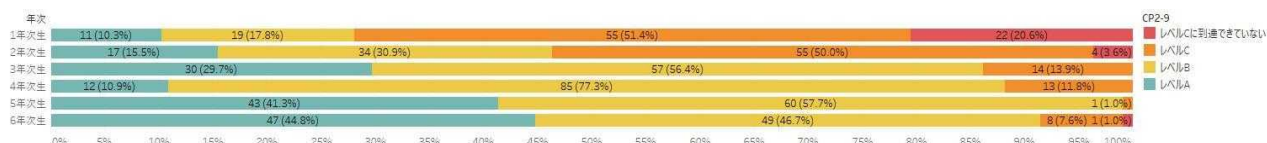
コンピテンシーⅡ-7 救急医療



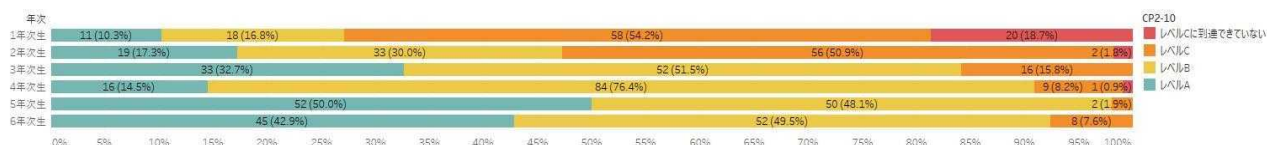
コンピテンシーⅡ-8 産業保健



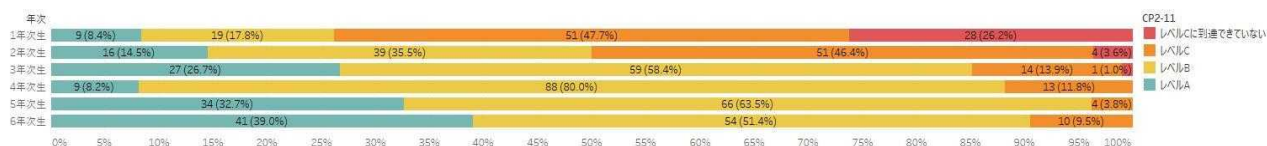
コンピテンシーⅡ-9 医療安全



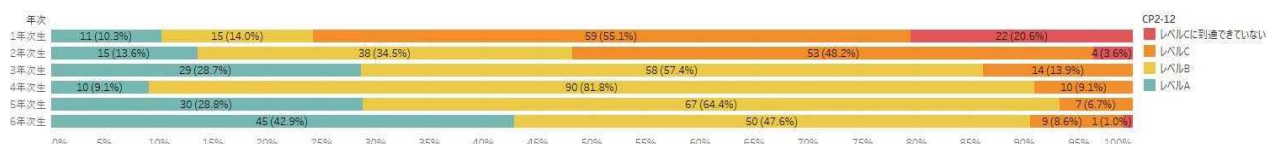
コンピテンシーⅡ-10 感染対策



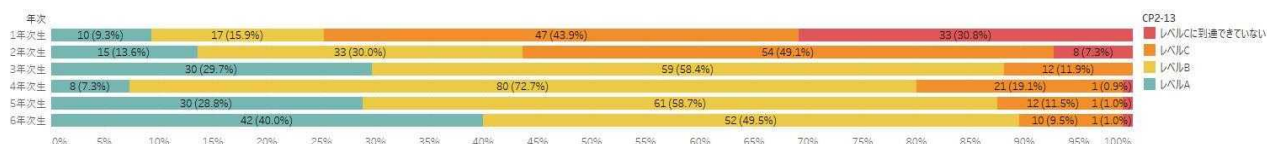
コンピテンシーⅡ-11 疫学、予防、公衆衛生



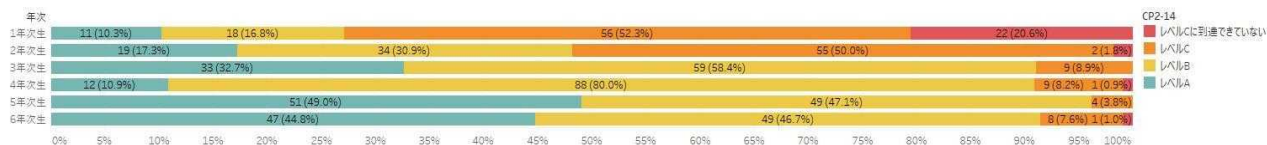
コンピテンシーⅡ-12 保健・医療・福祉制度



コンピテンシーⅡ-13 医療経済



コンピテンシーⅡ-14 医療情報管理・個人情報保護

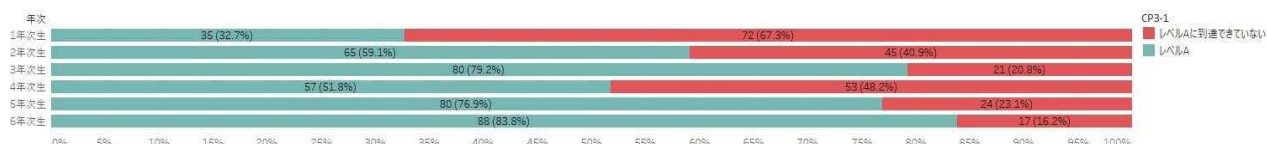


ディプロマ・ポリシーⅢ. 産業医学的知識・技能

産業医学の使命及び産業保健の意義を理解し、産業医学の研究及び産業保健の実務において中心的かつ指導的役割を担う医師としての必要な専門的知識と技能を修得し、実践することができる。

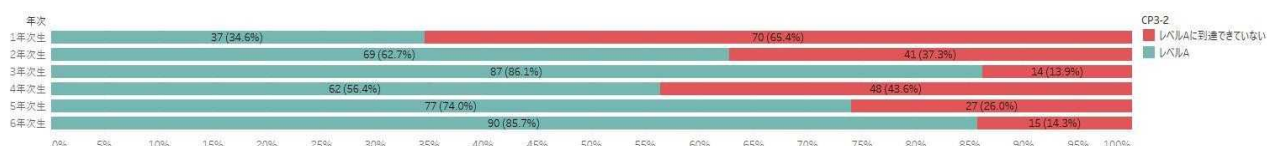
コンピテンシーⅢ-1

労働条件と労働環境に関連する健康障害の予防、働く人の健康の保持増進、並びに福祉の向上に寄与し、働く人及び事業者に適切な教育を行うことができる。



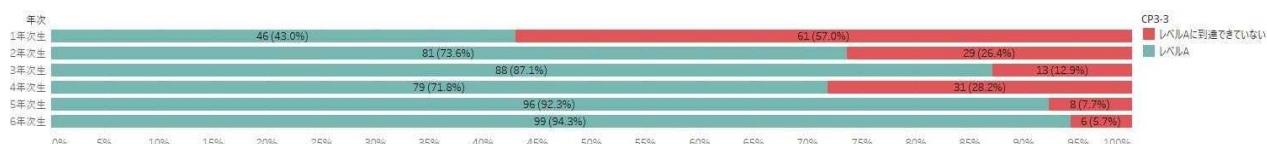
コンピテンシーⅢ-2

働く人及び事業者との円滑な意思疎通を図り、他の専門職とも協力して、職場の環境改善、働く人の健康増進にとりくむことができる。



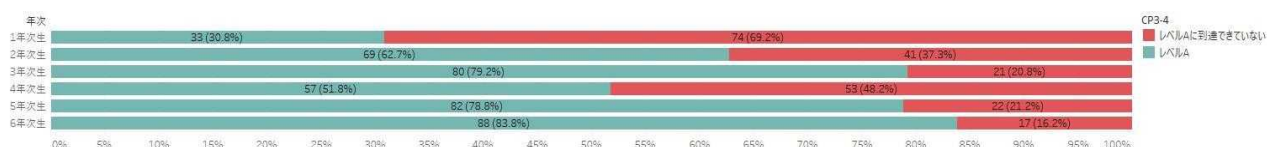
コンピテンシーⅢ-3

働く人及び事業者との円滑な意思疎通を図り、他の専門職とも協力して、職場の環境改善、働く人の健康増進にとりくむことができる。



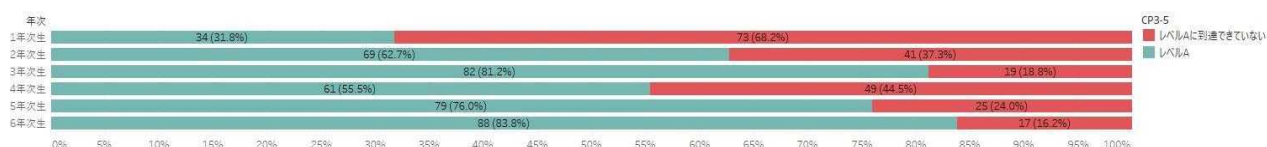
コンピテンシーⅢ-4

集団の健康管理及び組織体の健全な運営の推進を産業医の視点から総合的に判断することができる。



コンピテンシーⅢ-5

地域環境・地球環境に配慮し、必要に応じて事業者に対し改善を要請する。

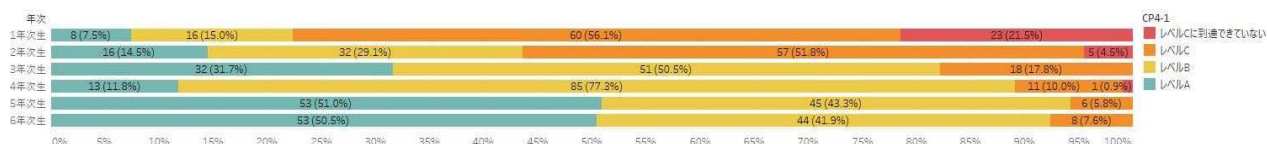


ディプロマ・ポリシーⅣ. 患者及び働く人への適切な対応能力

医師としての信頼を得られる思考と態度を身につけ、患者及び働く人の尊厳・意思を尊重して相互理解と信頼のもとに適切な対応ができる。また、治療と職業生活の両立支援に関する専門的知識を修得し、疾病の予防、診断、治療及び社会復帰に関して適切かつ総合的に判断することができる。

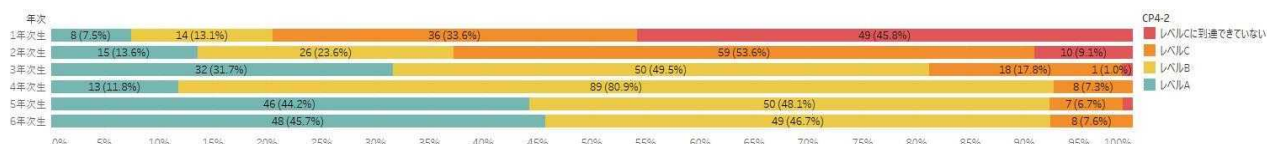
コンピテンシーⅣ-1

患者との良好な関係を構築し、患者からの確に病歴を聴取することができる。



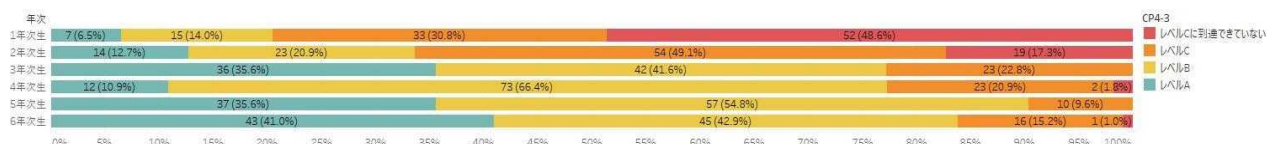
コンピテンシーⅣ-2

基本的な身体診察を行い、所見を認識できる。



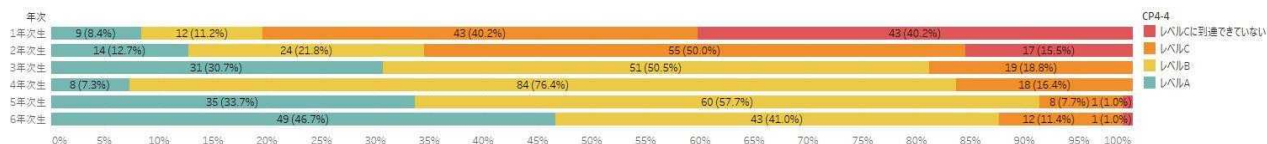
コンピテンシーⅣ-3

診療録についての基本的な知識を修得し POS (Problem-Oriented System) を用いて診療録を記載できる。



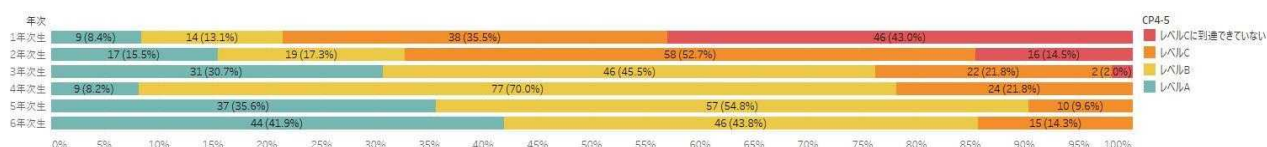
コンピテンシーⅣ-4

患者の病歴、診察所見から、臨床推論により適切な鑑別診断を行うことができる。



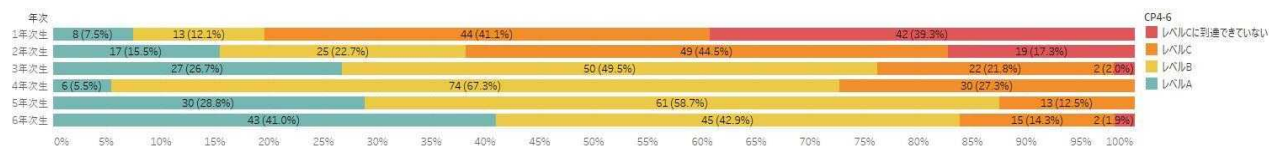
コンピテンシーⅣ-5

EBM (Evidence-Based Medicine) に基づいて診断し、適切な治療計画を立てることができる。



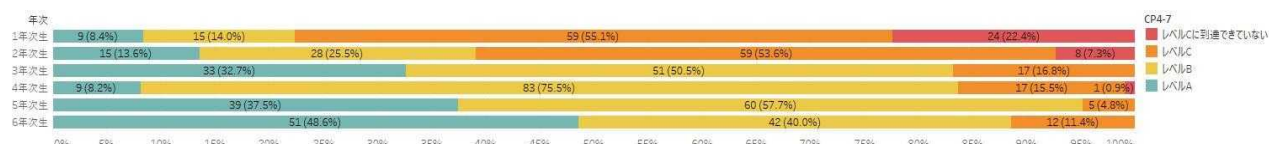
コンピテンシーⅣ-6

医療文書を適切に作成できる。



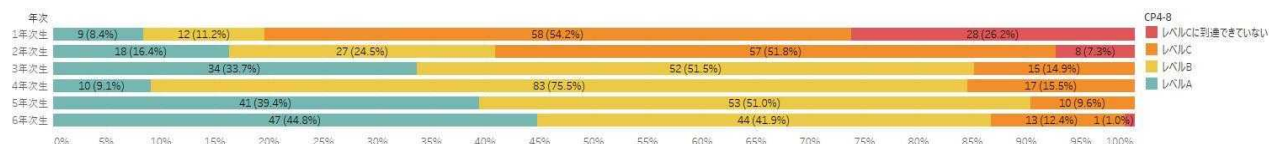
コンピテンシーⅣ-7

医療安全について理解し、実践できる。



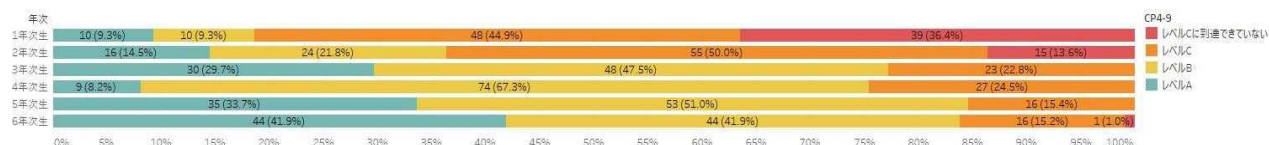
コンピテンシーⅣ-8

患者とその関係者の心理・社会的背景を理解し、患者に必要な病状説明を行い、患者の意思決定を尊重し対応できる。



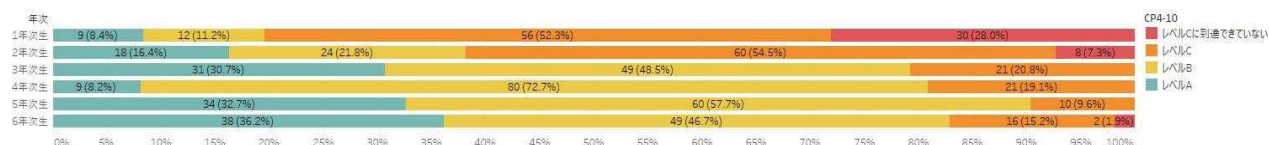
コンピテンシーⅣ-9

患者教育に参加できる。



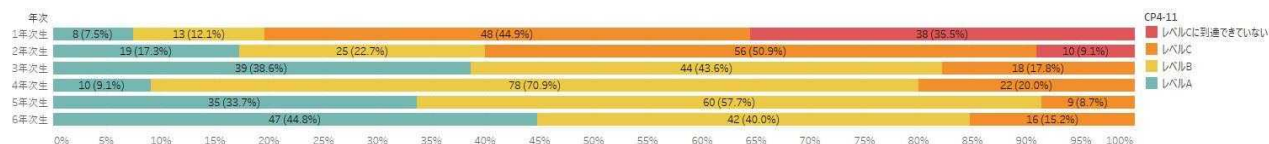
コンピテンシーⅣ-10

医療制度、社会福祉制度、医療経済を正しく理解し診療を実践できる。



コンピテンシーⅣ-11

地域社会において、プライマリーケアの実践、疾病予防、健康増進、安全確保のための活動に参加できる。

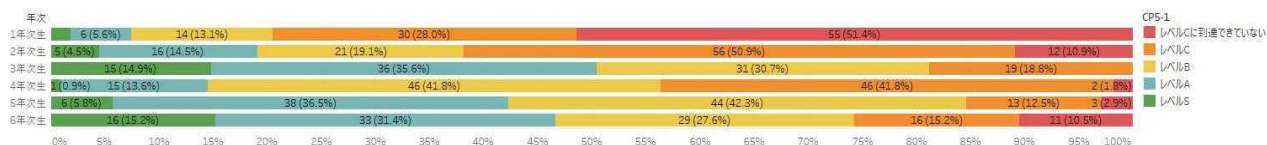


ディプロマ・ポリシーV. 科学的探究心・問題解決能力

医学及び産業医学における研究の意義を理解し、科学的な観察力・思考力・表現力を修得し、生涯にわたり自己研鑽を続ける意欲を持ち、自ら問題を解決することができる。

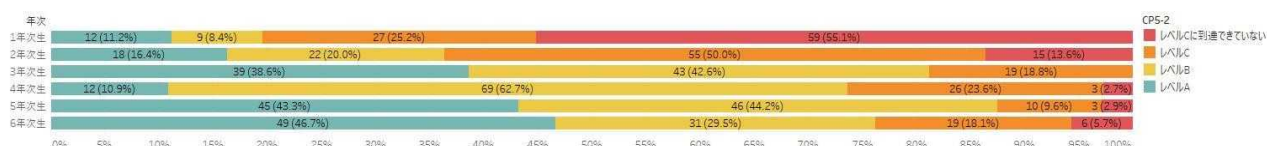
コンピテンシーV-1

未解決の医学的、科学的問題を発見することができ、その解決方法を科学的に考案することができる。



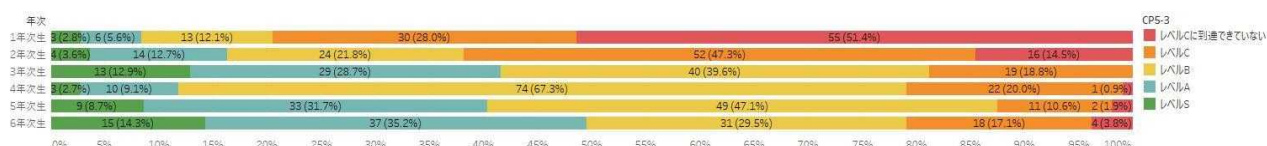
コンピテンシーV-2

医学・医療の発展のための医学研究の持つ社会的意義を理解している。



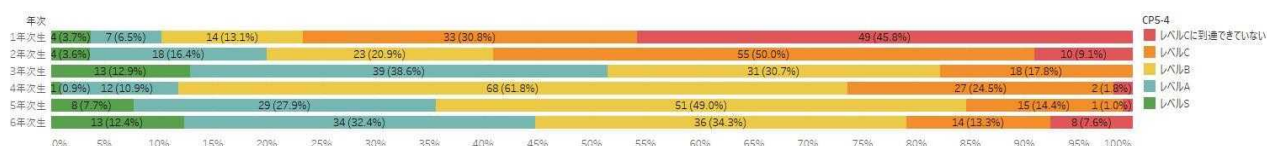
コンピテンシーV-3

研究倫理に関する基本的な知識及び医学研究に必要な基礎的な技術を身につけ、研究に関する法並びに倫理指針を遵守した研究活動を遂行できる。



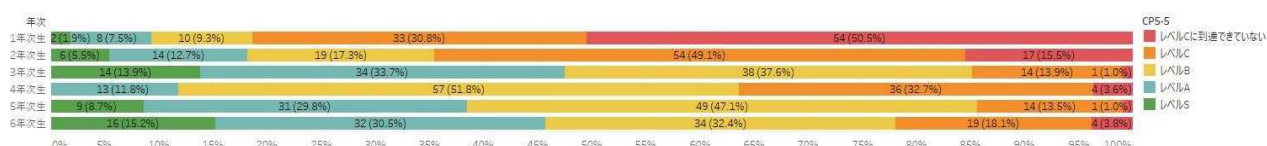
コンピテンシーV-4

実験結果について論理的に考察し、研究発表や論文作成を行うことができる。



コンピテンシーV-5

最新の医学情報を収集し、論理的、批判的に評価し、正しく応用できる。

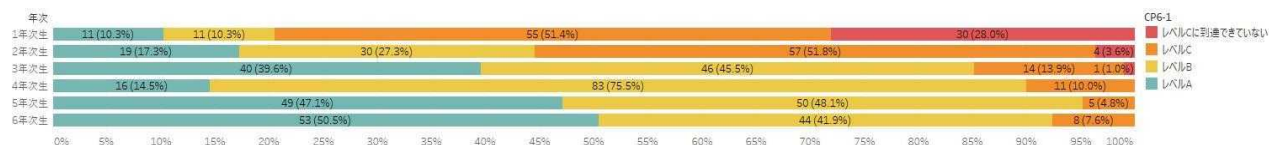


ディプロマ・ポリシーⅥ. コミュニケーション能力

患者、働く人及びそれらに関わる人たちと良好な人間関係を築き、適切な情報交換共有、説明伝達を行うことができる。また、多職種の医療チーム内で信頼関係を築き、チームの一員として行動することができる。

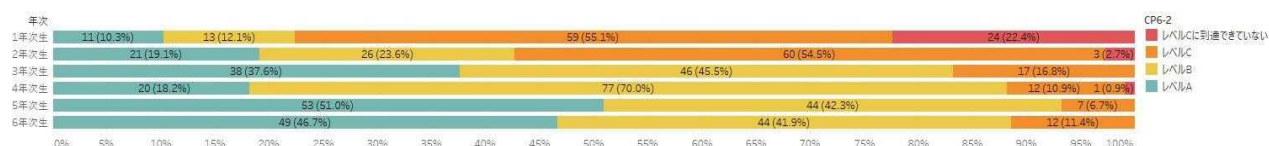
コンピテンシーⅥ-1

患者とその家族の個人的背景、文化、社会的背景を理解し、傾聴、共感、理解、支持的態度を示し良好なコミュニケーションをとることができる。



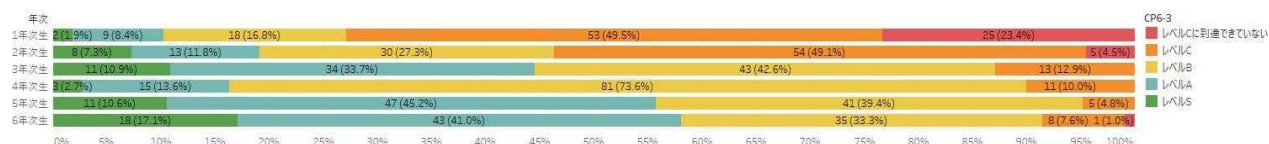
コンピテンシーⅥ-2

個人情報保護を含む患者の権利を尊重し、適切に対処できる。



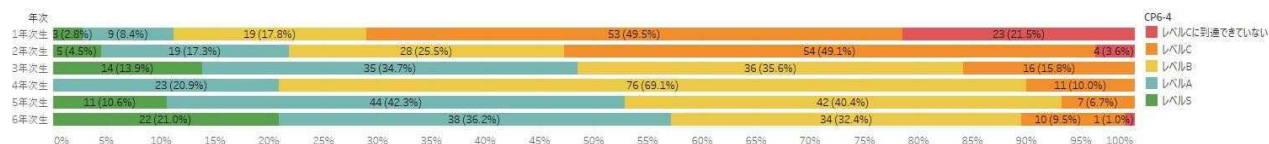
コンピテンシーⅥ-3

多職種の医療チーム内で信頼関係を築き、患者中心の医療のために情報を共有し、医師の責任を意識し、リーダーとして行動できる。



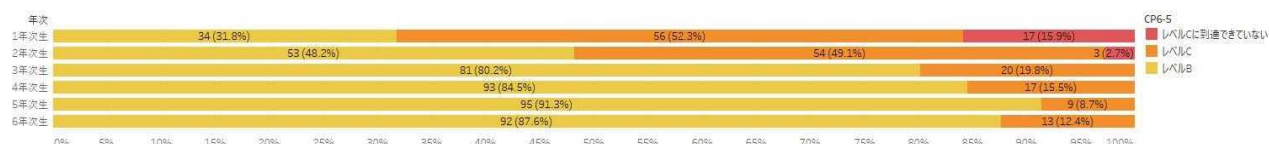
コンピテンシーⅥ-4

他の医療者に、手順を守り適切にコンサルテーションできる。



コンピテンシーⅥ-5

先輩、後輩、同僚、他職種医療者を尊重し、調和的な態度で行動できる。

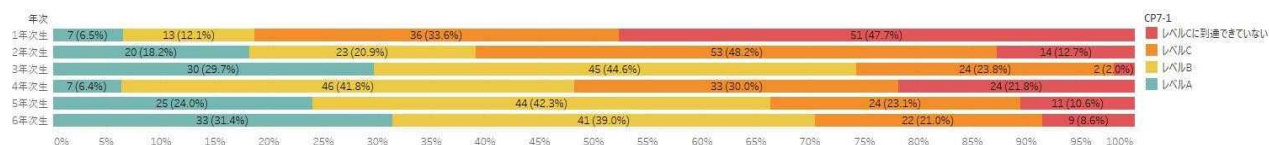


ディプロマ・ポリシーⅦ. 国際保健

国際的な視野を持ち、将来、産業医学分野における国際保健に貢献することができる。

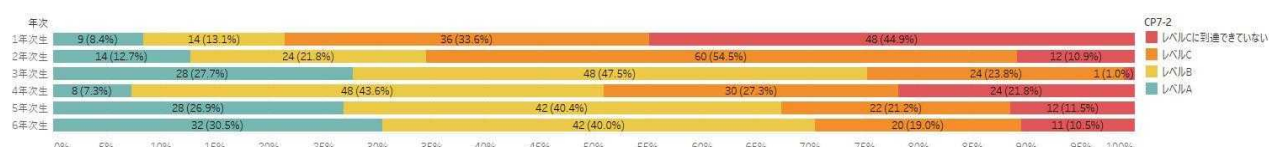
コンピテンシーⅦ-1

海外からの患者の診療、医療者との交流のため英語でのコミュニケーションができる。



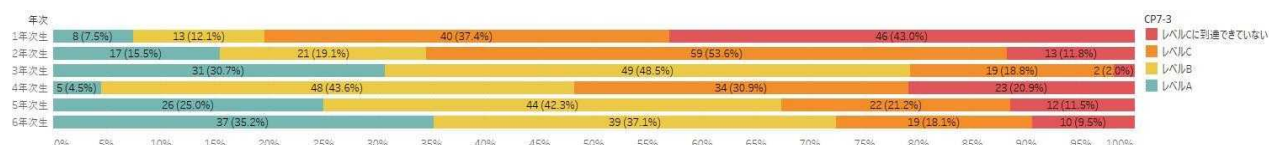
コンピテンシーⅦ-2

国際的な医療の社会的問題や産業保健の情報を収集できる。



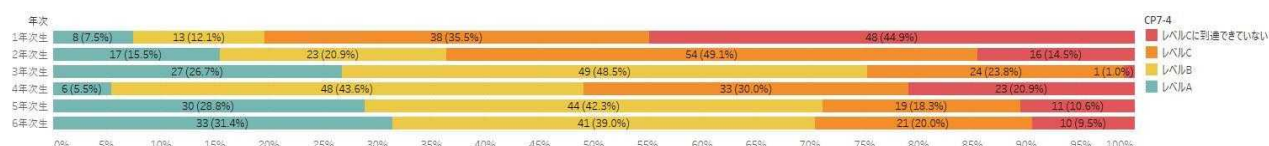
コンピテンシーⅦ-3

国ごとに異なる医療事情、産業保健事情を理解する。



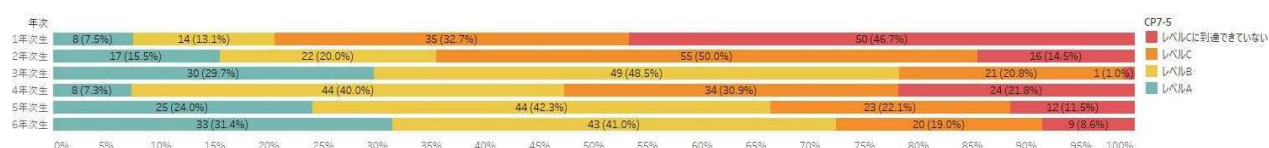
コンピテンシーⅦ-4

医学・医療に関する課題について、国際的視野に立って考察することができる。



コンピテンシーⅦ-5

医療活動を通じた国際協力に関心を示し、参加することができる。



令和7年度 産業医科大学 産業保健学部 看護学科 「ディプロマ・ポリシー到達度自己評価アンケート」(4年次生対象)

<回答者数/対象者数>

69/70名(通常課程:52/52名,保健師課程:17/18名)

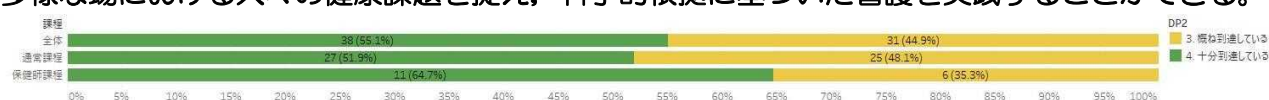
ディプロマ・ポリシー1. 人間性・倫理観

生命の尊厳を重んじ人々の権利を擁護できる豊かな人間性と高い倫理観ならびに深い教養と洞察力を身につけ、物事の本質を探究することができる。



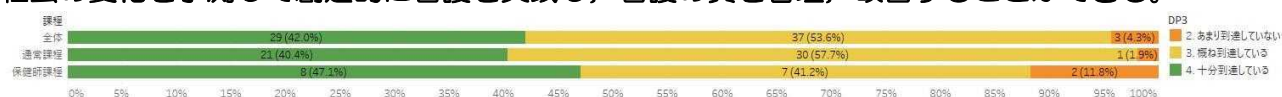
ディプロマ・ポリシー2. 専門的知識・技能

多様な場における人々の健康課題を捉え、科学的根拠に基づいた看護を実践することができる。



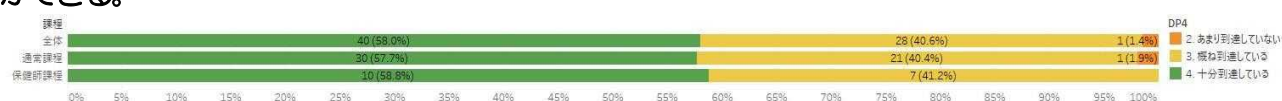
ディプロマ・ポリシー3. 看護実践力・批判的思考力・問題解決能力

社会の変化を予測して創造的に看護を実践し、看護の質を管理、改善することができる。



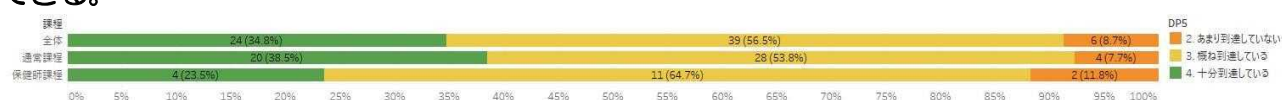
ディプロマ・ポリシー4. 産業看護・コミュニケーション能力

人々の健康を働くこととの関連から多角的に捉え、様々な職種と協働し問題解決に向けて活動することができる。



ディプロマ・ポリシー5. 国際貢献・自己啓発力

グローバルな視点から人々の健康を捉え、また主体性ある看護職者として自己啓発し続けることができる。



令和7年度 産業医科大学 産業保健学部 産業衛生科学科 「ディプロマ・ポリシー到達度自己評価アンケート」(4年次生対象)

<回答者数/対象者数>

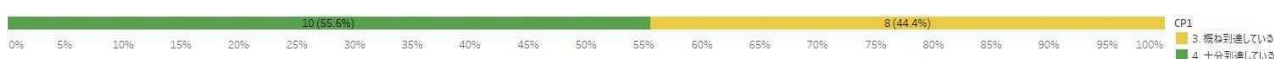
18/18名

ディプロマ・ポリシー1. 人間性・倫理観

労働安全衛生専門職として必要な豊かな人間性と高い倫理観を身につけ、物事の本質を探究することができる。

コンピテンス 1. 高い倫理観と豊かな人間性

豊かな人間性と高い倫理観をもち、物事の本質を探究する能力



ディプロマ・ポリシー2. 専門的知識・技能

第二種作業環境測定士、第一種衛生管理者の国家資格にふさわしい基礎学力及び専門的知識を身につけ、作業環境管理、作業管理及び健康管理の実践に貢献、推進できる高度な専門的技術力を活用することができる。

コンピテンス 2. 作業環境管理学の専門的知識と技術を活用する能力(第二種作業環境測定士、第一種衛生管理者が作業環境管理業務を実践するために、備えるべき基礎的学力と専門的知識及び技術力)



コンピテンス 3. 作業管理学の専門的知識と技術を活用する能力(第二種作業環境測定士、第一種衛生管理者が作業管理業務を実践するために、備えるべき基礎的学力と専門的知識及び技術力)



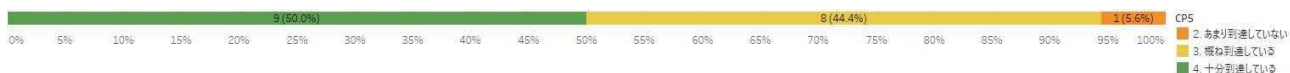
コンピテンス 4. 健康管理学の専門的知識と技術を活用する能力(第二種作業環境測定士、第一種衛生管理者が健康管理業務を実践するために、備えるべき基礎的学力と専門的知識及び技術力)



ディプロマ・ポリシー3. 科学的判断力・問題解決能力

働く人々の健康と安全を脅かす要因を科学的な根拠に基づき評価する判断力とそれらの要因に対する対策を考案して積極的に問題を解決することができる。

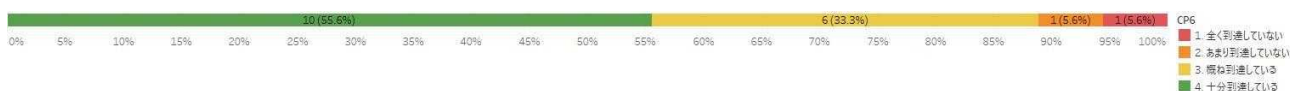
コンピテンス 5. 労働衛生工学の専門的知識と技術を活用する能力（労働安全衛生専門職として、働く人々の健康と安全を脅かす要因を科学的な根拠に基づき評価し、問題解決するために備えるべき基礎的学力と専門的知識及び技術力）



ディプロマ・ポリシー4. コミュニケーション能力・ドキュメンテーション能力

労働安全衛生専門職として必要な教養を身につけ、働く人々の健康と安全意識の向上に貢献するコミュニケーション能力及びドキュメンテーション能力を含めた優れた表現力を発揮することができる。

コンピテンス 6. 働く人々の健康と安全意識の向上に貢献するコミュニケーション能力及びドキュメンテーション能力（労働安全衛生専門職として、働く人々の健康と安全意識の向上に貢献するために必要な、コミュニケーション能力、ドキュメンテーション能力、及びその総合力としての表現能力）



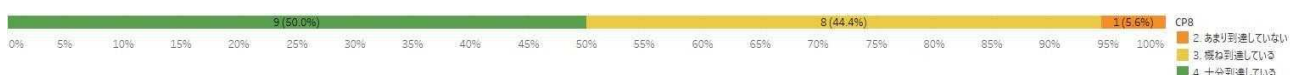
コンピテンス 7. 専門的知識と技術の習得の基盤となる教養力（労働安全衛生専門職として、生涯にわたって専門的な知識の習得と技術を磨く基盤となる教養力）



ディプロマ・ポリシー5. 労働安全衛生マネジメントシステムの理解及び探究心

グローバルに導入が進む労働安全衛生マネジメントシステムを理解し、他の産業保健専門職と協働して、働く人々の健康を保持し、安全で快適な職場を創りだすためのチームワークに貢献し、将来、国内外において指導的役割を果たし得るように、生涯にわたって学び続けることができる。

コンピテンス 8. 労働安全衛生をマネジメントする総合力（グローバルに導入が進む労働安全衛生マネジメントシステムを理解し、その実践に必要な他の産業保健専門職と協働する力及び継続的な学びのモチベーションを見出す能力）



令和7年度 産業医科大学 大学院医学研究科 医学専攻・博士課程 「ディプロマ・ポリシー到達度自己評価アンケート」(本年度修了生対象)

<回答者数/対象者数>

15/23 名

1. 産業医学を含む医学分野の高度で幅広い専門的知識を修得している。



2. 学術的意義、新規性、創造性等を有する研究について、倫理性を備えて企画・推進・実施できる。



3. 高度な普遍性を持つ研究成果を論理的に説明できる。



4. 実践的な教育の機会や学術発表を通じて、産業医学を含む医学分野における学識を教授できる。



5. 国際社会に通用するグローバルな能力を有する。



6. 生涯にわたり真理を追究する探究心を持ち、研究分野の発展に寄与・貢献できる。



令和7年度 産業医科大学 大学院医学研究科 産業衛生学専攻・博士前期課程 「ディプロマ・ポリシー到達度自己評価アンケート」(本年度修了生対象)

<回答者数/対象者数>

9/10名

1. 産業衛生学分野の基礎的知識及び専門に関連する知識を修得している。



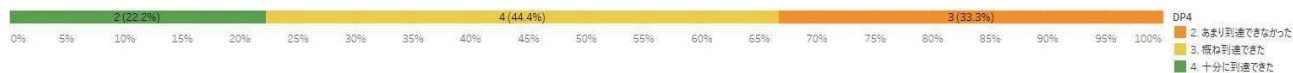
2. 学術的意義, 新規性, 創造性等を有する研究について, 倫理性を備えて推進・実施できる。



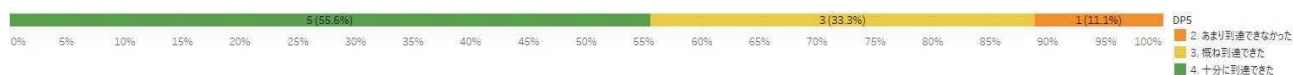
3. 研究成果を論理的に説明できる。



4. 国際学術分野で通用するグローバルな能力を有する。



5. 生涯にわたり真理を追究する探究心を持ち, 研究分野の発展に寄与・貢献できる。

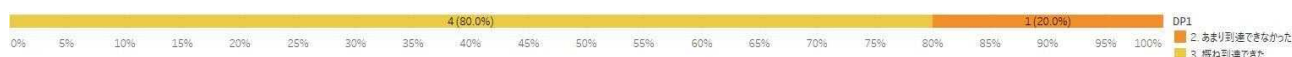


令和7年度 産業医科大学 大学院医学研究科 産業衛生学専攻・博士後期課程 「ディプロマ・ポリシー到達度自己評価アンケート」(本年度修了生対象)

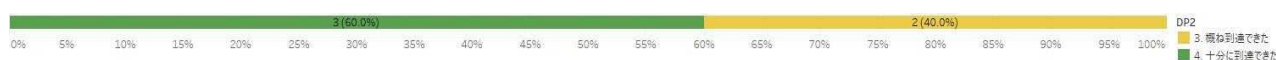
<回答者数/対象者数>

5/6名

1. 産業衛生学分野の高度で幅広い専門的知識を修得している。



2. 学術的意義, 新規性, 創造性等を有する研究について, 倫理性を備えて企画・推進・実施できる。



3. 高度な普遍性を持つ研究成果を論理的に説明できる。



4. 実践的な教育の機会や学術発表を通じて, 産業衛生学分野における学識を教授できる。



5. 国際社会に通用するグローバルな能力を有する。



6. 生涯にわたり真理を追究する探究心を持ち, 研究分野の発展に寄与・貢献できる。

